

令和 2 年 5 月 29 日現在

機関番号：15301

研究種目：基盤研究(B) (海外学術調査)

研究期間：2015～2018

課題番号：15H05125

研究課題名(和文)自然を「資本化」する基盤の構築過程：東南アジアの事例から

研究課題名(英文)Processes of Capitalization/financialization of Nature: From Cases in Southeast Asia

研究代表者

生方 史数(Ubukata, Fumikazu)

岡山大学・環境生命科学研究所・教授

研究者番号：30447990

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 12,300,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、東南アジアにおいてPES(生態系サービスへの支払)やREDD+(森林減少・劣化からの温室効果ガス排出削減)などの諸事業を、自然の商品化に連なる「資本化」の動きとして位置づけた。事業に関する議論とその実体化の過程を知識技術・制度政策・実態という3つの視点から分析し、その政治的メカニズムを検証するとともに、社会や自然へのガバナンスの変化を考察した。その結果、自然を「資本化」する過程を3段階の「棚卸」作業として概念化することができた。また、一連の過程において、現場から遠く専門的知識を駆使するアクターが大きな影響力をもつようになり、それによって現場の混乱を招いていることも明らかになった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

これまでのPES、REDD+等に関する研究では、主に環境経済・政策の視点に基づき当該制度の直接的影響に絞って分析されることが多かった。その結果、自然にも社会にもネガティブな影響は生まれていないという報告もある。しかし、これらの制度を現地がたどった歴史的な視点、すなわち近代以降展開された「自然の擬制商品化」の新局面として位置づける視点から掘り下げる研究は少なかった。本研究ではこのような視点にたつことで、当該制度を歴史的脈や他制度・社会とのリンクのなかで捉えており、研究成果も国家や国際社会が環境対策を通じて人への支配を強めているという、上述の研究とは異なる立場からの批判になっている。

研究成果の概要(英文)：In recent years, there have been discussions about the approach to procure funds by the use of financial instruments to mitigate environmental problems. Common examples in developing countries include the use of carbon credits (e.g., REDD+) and systems to pay for environmental services (e.g., PES). Taking examples from Southeast Asia, this research examined processes that lead to the formulation of these funding mechanisms, and regarded them as new developments that mainstream the commodification of nature (capitalization/financialization of nature). At the same time, this research also examined its socioeconomic impacts and the changes in governance of society and the environment.

As a result, we could conceptualize a three-stage process to capitalize the nature. We also found that the stakeholders who have technical knowledge, and are distant from the target area, became more influential in the process, which sometime caused various social confusions in implementation.

研究分野：東南アジア地域研究、環境と開発

キーワード：地域研究 環境政策 国際開発 東南アジア 自然資本 商品化 制度 住民

## 様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

昨今、金融市場や直接支払といった資金調達手法を活用することで環境問題の解決を図るアプローチが議論され、現実に導入され始めている。その典型的な例が、気候変動枠組条約にみられる炭素のクレジット化と環境サービスに対する支払制度である。このような、自然や環境を資本や金融商品として扱う試みは、特に途上国では開発と環境保全をつなぐ有効な手段として位置付けられる。一方で、様々な混乱を途上国の現場に生み出す可能性もある。技術的な課題等で枠組みが有効に機能するかどうかは未知数であるところか、住民からの土地収奪などの社会問題を再燃させる懸念すらある。

上述した資金調達手法は、市場志向の環境対策の1つであり、環境経済・政策の視点から議論されるのが常である。一方、これを現地社会の視点からみれば、従来の「商品化された自然物」とは別の価値が人工的に付与され、資金フローを生み出す資産として扱われたり、流動性の高い金融商品としての取引が想定されたりするという意味で、近代以降展開されてきた「自然の(擬制)商品化」の新局面として位置づけることもできる。しかし、環境保全の新たな資金調達手法が持つ意義と問題点を、以上のような視点から実証的に掘り下げる研究は世界的にも非常に少ない。

### 2. 研究の目的

上述のような環境保全の資金調達手法を制度化する試みは、どのような政治経済的背景によって生じ、自然と社会との関係性を今後どのように変えていくのだろうか。開発と環境の新たなバランスを提示できるのか、それとも、現地の自然や社会をさらに翻弄させる新たな一因となってしまうのだろうか。本研究では、以上のような問題意識のもとで、環境保全の資金調達手法・制度の構築過程を、近代の成立とともに本格的に始まった自然の商品化の新たな動き、すなわち自然の「資本化」および「金融商品化」として位置づける。

そして、東南アジアにおけるPES(生態系サービスへの支払)やREDD+(森林減少・劣化からの温室効果ガス排出削減)などの事例から、関連する議論とその実体化の過程を技術・制度政策・実態という3つの視点から分析する。これらの結果を総合することで、自然の「資本化」に至る経緯とそのメカニズムを検証し、社会や自然への(潜在的な)インパクトやガバナンスの変化を考察する。

### 3. 研究の方法

自然の「資本化」を「金融商品化」の前提条件とみなしつつ、de Soto(2000)のいう「不生産的資本」の資本化過程(発見の過程、法政治的過程、実施上・商業上の過程)に対応する以下3つの視点、すなわち(1)知識・技術レベル、(2)制度政策レベル、(3)実態レベルの視点から、環境保全の資金調達手法・制度の形成過程が持つ問題点を批判的に検証していく。これらを相互連携しながら同時並行的にすすめていき、随時これらの知見を(4)総合することで研究目的にアプローチする。

(1)知識・技術レベルの研究では、自然に関する科学知や在来知が資金調達手法や制度の構築をどのように支えているのか、もしくは批判しているのかを検証する。自然の商品化に関する歴史研究や現在の炭素市場成立の経緯、PESやREDD+などに関する各国における議論の状況などを整理するとともに、炭素や自然をどのように測定し評価するのかといった技術的な課題や、これらの動きに批判的なアクターによる対抗言説と戦略などを明らかにし、手法開発の過程で何が起こったかを明らかにする。

(2)制度政策レベルの研究では、気候変動枠組条約や生物多様性条約の締約国会議などにおけ

る科学的・政策的議論の経緯に加えて、PES、REDD+、必要なら排出権取引、オフセットクレジット、CDM、国際認証制度などへの取り組みに対する議論と対応をレビューすることで、生成された知識や言説が、どのように制度や政策に反映されてきたかを検証する。

(3) 実態レベルの研究では、東南アジア(主にベトナム、カンボジア、インドネシア)におけるPESやREDD+、国際認証制度などのプロジェクトやその対象となった現場を調査することで、制度や政策がどのように実施されたのか、そして実際に社会や自然管理にどのような影響を与えたのか(または与える可能性があるのか)を検討する。

(4)そして最後に、これらの一連の研究を自然の商品化や「資本化」「金融商品化」といった歴史的な問題枠組みの中に位置づけ、それらを機能させるための技術や制度政策的な基盤をどのように構築しようとしているのか、そしてどこに制約や限界があるのかを批判的に検討していく。これによって、自然が人間によってどのように取り扱われてきたか、今後どのように扱われうるのかに関する理解を深めていく。

#### 4. 研究成果

主な研究成果は以下5点に大別できる。第1点は、文献レビューと現地調査から、自然を「資本化」する際に必要な基盤整備の過程を、(1)自然(ここでは主に森林)のある側面を「資本」として見出す作業、(2)自然をGIS等によって地図化・デジタル化し、その属性を規格化・リスト化する作業、(3)対象となる自然やサービスに対して生態的・経済的に価値を評価する作業、という3段階の作業として概念化したことである。これによって、これまでの天然資源管理政策と対象制度との根本的な違いを明らかにすると同時に、資金の流れや市場を形成する過程と佐藤(2016)のいう「資源を財に転換する過程」を統合する枠組みを構築することができた。

第2点は、上記のような過程をもつ関連制度を国家の政策として落とし込む際に、各国がそれぞれ自国の国家体制や既存の政策と整合性を保つための改変や調整を行い、それがプロジェクトの制度デザインに大きな影響を与えていたことがわかったことである。例えば、インドネシアの生態系修復コンセッション(ecosystem restoration concession)制度のように既存のコンセッション制度を応用したり、ベトナムのPES(PFES: Payment for Forest Environmental Services)のように、PESをベトナムの行政制度や資源開発政策と整合性を保つように改変したりしていた。このような制度進化の径路依存性によって、当該政策の導入によって促される関連制度や方針の改革が最小限に抑えられ、国家体制や既存の政策が維持強化された可能性がある。

第3点は、一連の「資本化」過程において、中央・地方の官僚・コンサル・外国の技術者や企業など、現場から遠く専門的な知識を駆使するアクターが、従来の資源管理に比べて大きな影響力を握っていることがわかったことである。そして、このために、外部から読みにくい複雑な現場情報よりも、上記の過程によって生み出された、デジタル化され読みやすく整理されたデータが優先される傾向にあることも明らかになった。

第4点は、一連の過程に対する現場の混乱した状況が明らかになった点である。例えばベトナムのPESに関する調査からは、一連の基盤整備によって支払に著しい不公平が生じるとともに、先述した知識の保有状況の相違や制度的な不備も相まって、支払やその変動に関する合理性や透明性を欠いたため、ときに住民間のコンフリクトも生むこともあったのである。ただし一方で、カンボジアのREDD+の事例調査などから、適切な制度デザインと基盤整備の過程に影響力のあるアクターの姿勢次第では、そのような混乱がある程度抑えられる可能性があることもわかった。

そして第5点は、事業や環境の情報、そしてこれらに関連する知識(炭素や環境サービスの概念を含む)の多様性・偏在・権力性が、社会や制度的な条件と相まって、事業の実践を決定的に

左右する要因になっていることがわかったことである。一方で、事業や環境の情報・知識が現場のアクターに共有されていないネガティブな状況が、逆に各アクターの自律性や交渉力を高め、結果的に事業をより公平かつ民主的に進める可能性にも気がついた。ベトナムのPESでは、上述のような様々な混乱が現場で生じていたが、そのなかで一部の住民や彼らに近い末端の地方役人が不公平な状況を改善すべく、PESを独自に解釈することでその不公平さを訴え、当局と交渉しようとする事例も見られたのである。

以上の結果は、国家が事業の持つ市場や資本のレトリックを利用し、既存の制度を一部改変して体制に適合させることで、資源や環境、さらにはそこに住む人間の新たな統治技術を編み出してきていること、そしてその源泉が、「基盤整備」の過程で国家に付与された、GISや衛星画像を駆使し対象を「俯瞰」する技術的能力や、自然の意味や価値を操作する政治的能力にあることを示している。このような状況は、国家の政治体制などの影響を割り引く必要があるものの、途上国が環境国家としての体制を整える際に、環境の支配から人への支配に転じやすいという佐藤(2019)の主張を概ね裏付けている。一方で、現地社会の対応からは、このような新たな統治技術がその精度や末端への浸透度等においていまだ大きな課題を抱えており、それが結果的に制度の「スキマ」となって、現場の抵抗や交渉の余地を生み出す材料となっていることも伺える。今後はこのような「支配」と「抵抗」のバランスがどのようにシフトするのかを明らかにしていく必要がある。

これまでのPES、REDD+や環境認証制度等に関する研究では、当該制度の自然や社会への影響に主に焦点を当ててきたため、制度の効果を当該制度からの直接的影響に絞って分析することが多かった。その結果、総じて自然にも社会にもネガティブな影響は生まれていないという議論もある(Angelsen *et al.* 2018)。しかし、本研究では、当該制度の基盤構築過程に焦点を当てているため、他の制度や社会とのリンクや制度進化といった視点、または社会運動論のような制度外からの抵抗や交渉といった視点を含めている。このような間接的影響に重きを置く新たな視点によって、国家や国際社会が環境対策を通じて人への支配を強めているという、従来の議論とは異なる批判的な主張を展開しているのが本研究成果の特徴となっている。

これらの研究結果の一部は、すでに論文や書籍として公表されている。しかし、これらの多くはまだ論文執筆の途上であり、同時にこれらを総括する書籍も一部を除いて執筆途上にある。なお、本研究におけるもう1つの成果として、国際ワークショップの開催や現地での共同調査によって、当該課題に関する現地研究者のネットワークを構築することができたことも挙げられる。今後は未発表の研究成果の公表に取り組むとともに、これまでに培った東南アジアにおける研究ネットワークを用いて、本研究をさらに拡張させた研究へとつなげていきたい。

#### <引用文献>

- 1) de Soto, H. (2000) *The Mystery of Capital: Why Capitalism Triumphs in the West and Fails Everywhere Else*. Basic Books.
- 2) Angelsen, A. *et al.* (2018) *Transforming REDD+: Lessons and New Directions*. CIFOR.
- 3) 佐藤仁(2016) 『野蛮から生存の開発論 越境する援助のデザイン』ミネルヴァ書房
- 4) 佐藤仁(2019) 『反転する環境国家 「持続可能性」の罫をこえて』名古屋大学出版会

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計31件（うち査読付論文 22件 / うち国際共著 12件 / うちオープンアクセス 17件）

1. 著者名 Kazi Kamrul Islam and Kimihiko Hyakumura	4. 巻 10(3)
2. 論文標題 Forestland Concession, Land Rights, and Livelihood Changes of Ethnic Minorities: The Case of the Madhupur Sal Forest, Bangladesh	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Forests	6. 最初と最後の頁 288
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) <a href="https://doi.org/10.3390/f10030288">https://doi.org/10.3390/f10030288</a>	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Jati A., H. Samejima, S. Fujiki, Y. Kurniawan, R. Aoyagi, K. Kanehiro	4. 巻 427
2. 論文標題 Effects of logging on wildlife communities in certified tropical rainforests in East Kalimantan, Indonesia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Forest Ecology and Management	6. 最初と最後の頁 124-134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) <a href="https://doi.org/10.1016/j.foreco.2018.05.054">https://doi.org/10.1016/j.foreco.2018.05.054</a>	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1. 著者名 鮫島弘光	4. 巻 329
2. 論文標題 東南アジアにおける住民主体型の木材生産地形成	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 木材情報	6. 最初と最後の頁 5-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Ehara, M., H. Samejima, M. Yamanoshita, Y. Asada, Y. Shogaki, M. Yano, K. Hyakumura	4. 巻 106
2. 論文標題 REDD+ engagement types preferred by Japanese private firms: The challenges and opportunities in relation to private sector participation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Forest Policy and Economics	6. 最初と最後の頁 101945
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) <a href="https://doi.org/10.1016/j.forpol.2019.06.002">https://doi.org/10.1016/j.forpol.2019.06.002</a>	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鮫島弘光	4. 巻 66
2. 論文標題 インドネシアにおける木材・木材製品生産の動向	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 林業経済研究	6. 最初と最後の頁 8-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nagano, H., K. Okadam Y. Nakashima, H. Samejima, J. Nais, K. Kitayama.	4. 巻 57
2. 論文標題 Habitat use of Bornean Ferret Badger Melogale everetti in Sabah, Malaysian Borneo	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Small Carnivore Conservation	6. 最初と最後の頁 25-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Wong, G.; Luttrell, C.; Loft, L.; Yang, A.; Pham, T.T.; Naito, D.; Assembe-Mvondo, S.; Brockhaus, M.	4. 巻 19
2. 論文標題 Narratives in REDD+ benefit sharing: examining evidence within and beyond the forest sector	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Climate Policy	6. 最初と最後の頁 1038-1051
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/14693062.2019.1618786	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Jaung, W.; Putzel, L.; Naito, D.	4. 巻 18
2. 論文標題 Can ecosystem services certification enhance brand competitiveness of certified products, Sustainable Production and Consumption	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Sustainable Production and Consumption	6. 最初と最後の頁 53-62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) <a href="https://doi.org/10.1016/j.spc.2018.12.003">https://doi.org/10.1016/j.spc.2018.12.003</a>	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tan, N. Q., Ubukata, F., Dinh, N. C. and Tan, D. V.	4. 巻 55(1)
2. 論文標題 Current Status and Constraints during the Development of the Community-based Tourism in Mountainous Areas of A Luoi District, Thua Thien Hue Province, Vietnam	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Can Tho University Journal of Science	6. 最初と最後の頁 157-166
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.22144/ctu.jsci.2019.124	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ho, T. T. and Ubukata, F.	4. 巻 8
2. 論文標題 Climate Change in Vietnam's Mekong Delta: Soc Trang Rice Farmers' Perceptions and Adaptive Behaviors	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Environmental Science for Sustainable Society	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) <a href="https://doi.org/10.3107/jesss.8.1">https://doi.org/10.3107/jesss.8.1</a>	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Trinh M. A. N.; Kim, D-C.; and Ubukata, F.	4. 巻 2016-4
2. 論文標題 Negotiating the State-making in Vietnam borderland: Case study of an ethnic minority group in Central Vietnam	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Belgeo	6. 最初と最後の頁 1-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) <a href="https://doi.org/10.4000/belgeo.19409">https://doi.org/10.4000/belgeo.19409</a>	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Takahiro Fujiwara, San Afri Awang, Wahyu Tri Widayanti, Ratih Madya Septiana, Kimihiko Hyakumura, Noriko Sato	4. 巻 17(1)
2. 論文標題 Socioeconomic Conditions Affecting Smallholder Timber Management in Gunungkidul District, Yogyakarta Special Region, Indonesia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Small Scale Forestry	6. 最初と最後の頁 41-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) <a href="https://doi.org/10.1007/s11842-017-9374-1">https://doi.org/10.1007/s11842-017-9374-1</a>	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kazi Kamrul Islam, Takahiro Fujiwara, Noriko Sato and Kimihiko Hyakumura	4. 巻 10(3)
2. 論文標題 Evolving and Strengthening the Cooperative Approach for Agroforestry Farmers in Bangladesh: Lessons Learned from the Shimogo Cooperative in Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Sustainability	6. 最初と最後の頁 617
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) <a href="https://doi.org/10.3390/su10030617">https://doi.org/10.3390/su10030617</a>	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 相楽美穂、百村帝彦、横田康裕	4. 巻 63(3)
2. 論文標題 途上国の森林セクターにおける裁判外紛争解決制度に求められる要件	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 林業経済研究	6. 最初と最後の頁 1-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Boutthavong Saykham, Hyakumura Kimihiko, Ehara Makoto	4. 巻 8(5)
2. 論文標題 Stakeholder Participation in REDD+ Readiness Activities for Three Collaborative Projects in Lao PDR	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Forests	6. 最初と最後の頁 150
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) <a href="https://doi.org/10.3390/f8050150">https://doi.org/10.3390/f8050150</a>	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamanoshita, M. H. Samejima, H. Scheyvens	4. 巻 21
2. 論文標題 Japan's New Initiative for REDD+ Results-based Financing: Opportunities and Challenges	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Global Environmental Research	6. 最初と最後の頁 47-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 藤崎泰治・山ノ下麻木乃・鮫島弘光	4. 巻 -
2. 論文標題 ゼロ・デフォレステーションの取り組み - サプライ・チェーンを通じた途上国の森林減少抑制 -	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 IGES Policy Brief	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamanoshita M., T. Fujisaki, and H. Samejima	4. 巻 -
2. 論文標題 IGES Briefing Note on REDD+ Negotiations: 第23回気候変動枠組条約締約国会議 (COP23)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 IGES Briefing Note	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Seiji IWANAGA, Yasuhiro YOKOTA, Kimihiko HYAKUMURA	4. 巻 51(1)
2. 論文標題 Social Safeguards in National and Sub-national REDD+ Initiatives: A comparison based on literature review	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Japan Agricultural Research Quarterly	6. 最初と最後の頁 31-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) <a href="https://doi.org/10.6090/jarq.51.31">https://doi.org/10.6090/jarq.51.31</a>	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Boutthavong Saykham, Hyakumura Kimihiko	4. 巻 39
2. 論文標題 Local Community Participation in Forest Biomass Monitoring: A Case Study from the Action Research Project in Lao PDR	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Bulletin of Institute of Tropical Agriculture, Kyushu University	6. 最初と最後の頁 1-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11189/bit.39.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fujisaki Taiji, Hyakumura Kimihiko, Scheyvens Henry; Cadman Tim	4. 巻 7(9)
2. 論文標題 Does REDD+ Ensure Sectoral Coordination and Stakeholder Participation? A Comparative Analysis of REDD+ National Governance Structures in Countries of Asia-Pacific Region	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Forests	6. 最初と最後の頁 195
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/f7090195	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Saykham Boutthavong, Kimihiko Hyakumura, Makoto Ehara, Takahiro Fujiwara	4. 巻 5(2),11
2. 論文標題 Historical Changes of Land Tenure and Land Use Rights in a Local Community: A Case Study in Lao PDR	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Land	6. 最初と最後の頁 1-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) <a href="https://doi.org/10.3390/land5020011">https://doi.org/10.3390/land5020011</a>	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤崎泰治・百村帝彦	4. 巻 102
2. 論文標題 REDD+国際交渉とパリ協定におけるその位置づけ	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 日本熱帯生態学会ニューズレター	6. 最初と最後の頁 3-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Scheyvens H. Kawasaki J. Kawai M. Fujisaki T. Umemiya C. Samejima H. and Suyal-Chhetri M.	4. 巻 -
2. 論文標題 Understanding REDD+ projects -comparative analysis of REDD+ project designs.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 IGES Working Paper	6. 最初と最後の頁 1-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Makoto Ehara, Kimihiko Hyakumura, Hisako Nomura, Toshiya Matsuura, Heng Sokh, Chivin Leng	4. 巻 52
2. 論文標題 Identifying characteristics of households affected by deforestation in their fuelwood and non-timber forest product collections: Case study in Kampong Thom Province, Cambodia	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Land Use Policy	6. 最初と最後の頁 92-102
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi:10.1016/j.landusepol.2015.12.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 江原誠・百村帝彦・野村久子・松浦俊也	4. 巻 61(3)
2. 論文標題 森林減少・劣化の影響を受けやすい住民の特徴の6村間比較 カンボジアでの 薪炭材・非木材林産物採取の事例	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 林業経済研究	6. 最初と最後の頁 24-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤崎泰治・百村帝彦	4. 巻 102
2. 論文標題 REDD+国際交渉とパリ協定におけるその位置づけ	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 日本熱帯生態学会ニューズレター	6. 最初と最後の頁 3-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Trinh Minh Anh Nguyen.; Kim Doo-Chul.; and Fumikazu Ubukata	4. 巻 18(3)
2. 論文標題 Livelihood Strategies of Ethnic Minority in the Borderlands: Case Study of the Bru-Van Kieu in Northern Central Vietnam	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Journal of the Economic Geographical Society of Korea	6. 最初と最後の頁 296-318
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.23841/egsk.2015.18.3.296	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tjajadi, Januarti.; Yang, Anastasia.; Naito, Daisuke.; Arwida, Dian	4. 巻 119
2. 論文標題 Lessons from Environmental and Social Sustainability Certification Standards for Equitable REDD+ Benefit-Sharing Mechanisms.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 CIFOR Infobrief	6. 最初と最後の頁 1-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 SCHEYVENS Henry; SAMEJIMA Hiromitsu; KAWAI Masayuki and FUJISAKI Taiji	4. 巻 DP/WP 2015
2. 論文標題 Legality risks and risk mitigation: A guide for buyers of Papua New Guinean export timber	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Discussion Paper / Working Paper	6. 最初と最後の頁 1-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 SCHEYVENS Henry; KAWASAKI Jintana; KAWAI Masayuki; FUJISAKI Taiji; UMEMIYA Chisa; SAMEJIMA Hiromitsu and SUYAL CHHETRI Meena	4. 巻 IGES Publication Code WP1510
2. 論文標題 Understanding REDD+ projects: Comparative analysis of REDD+ project designs	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Policy Report / Research Report	6. 最初と最後の頁 NA
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計38件 (うち招待講演 2件 / うち国際学会 22件)

1. 発表者名 ISLAM Kazi Kamrul, HYAKUMURA, Kimihiko
2. 発表標題 Forestland grabbing, land rights and sustainable development of Sal forests : insight from Bangladesh
3. 学会等名 第30回日本森林学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 鯨島弘光
2. 発表標題 東南アジアにおける小農主体型新興木材生産地形成の比較 -インドネシア、ベトナム、フィリピン、タイを中心に.
3. 学会等名 林業経済学会2018年秋季大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Samejima H.
2. 発表標題 Analysis on National Policy for Sustainable Forest Management in Indonesia
3. 学会等名 INDONESIA - JAPAN 60th ANNIVERSARY SEMINAR FOR FOREST SECTOR Changing Paradigm of Forestry Policy in Indonesia: "Toward Promotion of Community-based Sustainable Forest Management" (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Naito, D., Yulianti N.
2. 発表標題 Evaluation of Market Mechanism of Conserving Peatland in Indonesia
3. 学会等名 the All-Russian scientific conference with international participation, dedicated to the 50th anniversary of the Institute of Water and Ecology Problems (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 生方史数
2. 発表標題 自然資本のつくられかた ベトナムでのPESの研究から
3. 学会等名 第15回「環境と社会」研究会(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鯨島弘光
2. 発表標題 セッション趣旨説明：違法伐採対策のこれまでの経緯、現状、課題。 テーマ別セッション「木材の合法性確認システムあり方とその課題」
3. 学会等名 林業経済学会2019年秋季大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tan, N. Q., Ubukata, F. and Dinh, N.C.
2. 発表標題 Development Process of the Community-based Tourism: From Two Case Studies in Central Vietnam
3. 学会等名 Vietnam-Japan Science and Technology Symposium 2019 (VJST2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 祖田亮次、生方史数、葉山アツコ
2. 発表標題 アブラヤシ認証が創り出すサラワク「小農」世界 生産者団体の活動に着目して
3. 学会等名 第29回日本熱帯生態学会年次大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ubukata, F. and Hoang, T. Q.
2. 発表標題 Upland socioeconomic transitions and payment for forest environmental services: Cases of two Cotu villages, central Vietnam
3. 学会等名 The 14th Japan-Korea-China Joint Conference on Geography (国際学会)
4. 発表年 2019年

1 . 発表者名 Dinh, N. C., Ubukata, F. And Tan, N. Q.
2 . 発表標題 Long-term Improvement in precautions for flood risk mitigation: A case study in the low-lying area, central Vietnam
3 . 学会等名 The 14th Japan-Korea-China Joint Conference on Geography ( 国際学会 )
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Watanabe, H. and Ubukata, F.
2 . 発表標題 International environmental certification and the change of local production and trade practices: a case study of shrimp farming in southern Vietnam
3 . 学会等名 The 17th Asia Pacific Conference, Governance in the Asia Pacific: Politics, Economics, Business and Environment ( 国際学会 )
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Ubukata, F. and Hoang, T. Q.
2 . 発表標題 State Authorization over the Value of Nature: Policy Process of Payment for Forest Environmental Services (PFES) in Central Vietnam
3 . 学会等名 The 25th Colloquium of IGU-CSRS ( 国際学会 )
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Watanabe, H., Nguyen, T. P. Chau, Ubukata, F. And Kim, D-C.
2 . 発表標題 Reclamation and Utilization of Natural Resources by Immigrants Through an Interaction with the Local Government: A Case Study of Mangrove-shrimp Farming Area in Ca Mau Province, Vietnam
3 . 学会等名 The 25th Colloquium of IGU-CSRS ( 国際学会 )
4 . 発表年 2017年

1. 発表者名 生方史数
2. 発表標題 自然資本の意味と価値をめぐる交渉 ベトナム中部におけるPFES（森林環境サービスへの支払い）の実施と地域住民
3. 学会等名 東南アジア学会第97回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ubukata, F. and Hoang, T. Q.
2. 発表標題 The Contested Meanings over Natural Capital: Cases from the Payment for Forest Environmental Services (PFES) in Central Vietnam
3. 学会等名 ICAS 10 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 生方史数
2. 発表標題 仮想商品と山村社会 ベトナム中部のPFES（森林環境サービスへの支払い）プログラムから
3. 学会等名 第22回BKK東南アジア研究会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 渡邉大樹、Nguyen, T. P. Chau、生方史数、金どう哲
2. 発表標題 既存のサプライチェーンが国際認証制度の導入に及ぼす影響 ベトナムカマウ省におけるマングローブ林との共存型粗放的エビ養殖業を事例に
3. 学会等名 第28回国際開発学会全国大会
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 許思寒、百村帝彦、御田成顕
2. 発表標題 中国の森林公園管理の現状と課題 -利害関係者に着目して-
3. 学会等名 第129回日本森林学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 呉書通、百村帝彦、御田成顕
2. 発表標題 中国・海南島五指山自然保護区の運営が地域住民の生計に与えた影響
3. 学会等名 林業経済学会2017年秋季大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kazi Kamrul Islam, Noriko Sato, Kimihiko Hyakumura
2. 発表標題 Political Economy of People-oriented Forest Management in Bangladesh
3. 学会等名 林業経済学会2017年秋季大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 百村帝彦
2. 発表標題 ラオスにおける違法伐採対策とその動向
3. 学会等名 日本熱帯農業学会第122回講演会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 田川一希、細谷忠嗣、鈴木大、吉澤聡史、百村帝彦、錢混、Bounthob Praxaysombath
2. 発表標題 ラオスの食料市場で売られている食用昆虫の実態」、小集会「昆虫利用の新たな可能性～食料・環境問題の解決に向けた昆虫の役割～
3. 学会等名 日本昆虫学会第77回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小林知、矢倉研二郎、本間香貴、堀美菜、百村帝彦、星川圭介、河野泰之、Kim Soben、Hor Sanara
2. 発表標題 カンボジア・トンレサープ湖南岸地域の農業生態環境と生業の変容
3. 学会等名 第27回日本熱帯生態学会年次大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Naito Daisuke
2. 発表標題 Verification of social sustainability?
3. 学会等名 The 7th ASEAN Working Group on Social Forestry (AWG-SF) Conference (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ubukata, F. and Hoang, T. Q.
2. 発表標題 Local Struggles for the Co-production of Natural Capital: Cases from the Payment for Forest Environmental Services in Central Vietnam
3. 学会等名 IRSA Congress 2016 (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ubukata, F. and Hoang, T. Q.
2. 発表標題 Contested Valuation of Environmental Services: Cases from PFES in Central Vietnam
3. 学会等名 International Workshop on “Forest, Peatland fire and Climate Change in Tropical Asia: Challenges toward Climate Resilient Livelihoods” (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 百村帝彦
2. 発表標題 地域住民のニーズに配慮したREDD+制度
3. 学会等名 国際シンポジウム『REDD+ 推進に向けて：官民投資の連携』（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Naito, D
2. 発表標題 Timber legality and forest sustainability in Malaysia
3. 学会等名 IUFRO Beijing (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Naito, D
2. 発表標題 Interdisciplinary research towards understanding Tropical Peatland fire and Haze.
3. 学会等名 International Workshop on “Forest, Peatland fire and Climate Change in Tropical Asia: Challenges toward Climate Resilient Livelihoods” (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Samejima H.
2. 発表標題 Policies and Systems toward Sustainable Management of Production Forests in Indonesia and Malaysia
3. 学会等名 Workshop on SDG 13 "Climate Action" and 15 "Life on Land" (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 鮫島弘光
2. 発表標題 インドネシアの択伐コンセッションの持続性
3. 学会等名 国際セミナー「インドネシアの森林管理政策・制度の現状と課題」(国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 HYAKUMURA Kimihiko,
2. 発表標題 The Opportunities and Challenges of REDD+ Demonstration Activities in Cambodia: From the Viewpoints of Social Safeguard
3. 学会等名 International Workshop on Evaluating Market-Driven Natural Resource Management in the Tropics; Case studies of Forest Certification Schemes, REDD+, and PES in Southeast Asia (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 百村帝彦、横田康裕
2. 発表標題 カンボジア・セイマ保護林における地域住民の選択戦略 - 集団土地所有権と個人所有権の狭間で -
3. 学会等名 第25回 日本熱帯生態学会年次大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 生方史数、 Truong Quang Hoang
2. 発表標題 自然の資本化と基盤整備:ベトナム中部における森林環境サービスへの支払(PFES)からの予備的考察
3. 学会等名 第26回国際開発学会全国大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Fumikazu Ubukata and Truong Quang Hoang
2. 発表標題 Local Struggles for the Co-production of Natural Capital: Cases from the Payment for Forest Environmental Services in Central Vietnam
3. 学会等名 IRSA Congress 2016 (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 SAMEJIMA Hiromitsu
2. 発表標題 Opportunities for Indonesian tropical hardwood products and market developments in Japan
3. 学会等名 3rd International Trade Seminar: Boosting international trade in certified wood products from Indonesia (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Naito Daisuke
2. 発表標題 Evaluating Market-Driven Forest Management in Malaysia
3. 学会等名 International Workshop on Evaluating Market-Driven Natural Resource Management in the Tropics: Case studies of Forest Certification Schemes, REDD+, and PES in Southeast Asia (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Naito Daisuke
2. 発表標題 Timber Legality and Forest Sustainability in Malaysia
3. 学会等名 International Workshop on Illegal Timber of the Global East: A Dialogue between the Private Sector, Civil Society Organizations and Academia. (国際学会)
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計26件

1. 著者名 Islam, K.K. Hyakumura, K.	4. 発行年 2019年
2. 出版社 NOVA Science publishers	5. 総ページ数 336
3. 書名 "Political economy of participatory forestry in Bangladesh" Bangladesh: Economic, Political and Social Issues	

1. 著者名 内藤大輔	4. 発行年 2018年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 287
3. 書名 持続可能な木材調達をめぐるポリティクス 森林認証制度と2020東京オリンピック (山田勇・赤嶺淳・平田昌弘編 『生態資源 - モノ・場・ヒトを生かす世界』)	

1. 著者名 生方史数	4. 発行年 2018年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 613
3. 書名 「エコロジー的近代化」国際開発学会編 『国際開発学事典』	

1. 著者名 蛭原一平、斉藤暖生、生方史数	4. 発行年 2019年
2. 出版社 共立出版	5. 総ページ数 288
3. 書名 森林と文化 - 森とともに生きる民俗知のゆくえ -	

1. 著者名 Ubukata, F. and Hoang, T. Q.	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 190
3. 書名 “Local Struggles for the Coproduction of Natural Capital: Payment for Forest Environmental Services in Central Vietnam”, In Devlin, J.F. ed. Social Movements Contesting Natural Resource Development	

1. 著者名 Ubukata, F. and Sadamichi, Y.	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 639
3. 書名 “Estate and Smallholding Oil Palm Production in Sarawak, Malaysia: A Comparison of Profitability and Greenhouse Gas Emissions”, In Ishikawa, N. and Soda, R. eds. Anthropogenic Tropical Forests: Human-Nature Interfaces on the Plantation Frontier	

1. 著者名 Naito, D.; Ishikawa, N.	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 639
3. 書名 Certifying Borneo Forest Landscape: Implementation process of forest certification in Borneo, Malaysia, In Ishikawa, N. and Soda, R. eds. Anthropogenic Tropical Forests: Human-Nature Interfaces on the Plantation Frontier	

1. 著者名 Hon., J. and H. Samejima	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 639
3. 書名 Land-Use Types along the Kemena River-Tubau-Lower Jelalong Region, Sarawak, In Ishikawa, N. and Soda, R. eds. Anthropogenic Tropical Forests: Human-Nature Interfaces on the Plantation Frontier	

1. 著者名 Kato, Y., J. Langub, A.R. Abdullah, H. Samejima, R. Soda, M. Uchibori, K. Okuno, and N. Ishikawa	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 639
3. 書名 Multiethnic Society of Central Sarawak: An Ethnographic Analysis, In Ishikawa, N. and Soda, R. eds. Anthropogenic Tropical Forests: Human-Nature Interfaces on the Plantation Frontier	

1. 著者名 Samejima, H., J. Hon.	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 639
3. 書名 Diversity of Medium- to Large-Sized Ground-Dwelling Mammals and Terrestrial Birds in Sarawak, In Ishikawa, N. and Soda, R. eds. Anthropogenic Tropical Forests: Human-Nature Interfaces on the Plantation Frontier	

1. 著者名 Hon, J., S. Shibata, H. Samejima	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 639
3. 書名 Species Composition and Use of Natural Salt Licks by Wildlife inside a Production Forest Environment in Central Sarawak, In Ishikawa, N. and Soda, R. eds. Anthropogenic Tropical Forests: Human-Nature Interfaces on the Plantation Frontier	



1 . 著者名 Samejima, H., Demies, M. Koizumi, S. Fujiki	4 . 発行年 2019年
2 . 出版社 Springer	5 . 総ページ数 639
3 . 書名 Above-Ground Biomass and Tree Species Diversity in the Anap Sustainable Development Unit, Sarawak, In Ishikawa, N. and Soda, R. eds. Anthropogenic Tropical Forests: Human-Nature Interfaces on the Plantation Frontier	

1 . 著者名 Tokuchi, N., H. Samejima, J. Hon, K. Fukushima.	4 . 発行年 2019年
2 . 出版社 Springer	5 . 総ページ数 639
3 . 書名 Influence of Herbicide Use in Oil Palm Plantations on Stream Water Chemistry in Sarawak, In Ishikawa, N. and Soda, R. eds. Anthropogenic Tropical Forests: Human-Nature Interfaces on the Plantation Frontier	

1 . 著者名 Fukushima K., N. Tokuchi, H. Samejima, J. Hon, Y. Kano	4 . 発行年 2019年
2 . 出版社 Springer	5 . 総ページ数 639
3 . 書名 Spatial Variations in Dissolved and Particulate Organic Carbon in the Kemena and Tatau Rivers, Sarawak, In Ishikawa, N. and Soda, R. eds. Anthropogenic Tropical Forests: Human-Nature Interfaces on the Plantation Frontier	

1 . 著者名 Kano, Y., J. Hon, M. K. Sulaiman, M. Aizu, K. Noshita, H. Samejima.	4 . 発行年 2019年
2 . 出版社 Springer	5 . 総ページ数 639
3 . 書名 Stream Fish Biodiversity and the Effects of Plantations in the Bintulu Region, Sarawak, In Ishikawa, N. and Soda, R. eds. Anthropogenic Tropical Forests: Human-Nature Interfaces on the Plantation Frontier	

1. 著者名 Kato. Y., H. Samejima	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 639
3. 書名 The Effects of Landscape and Livelihood Transitions on Hunting in Sarawak, In Ishikawa, N. and Soda, R. eds. Anthropogenic Tropical Forests: Human-Nature Interfaces on the Plantation Frontier	

1. 著者名 Takeuchi, Y., R. Soda, H. Samejima, B. Diway.	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 639
3. 書名 Current Status and Distribution of Communally Reserved Forests in a Human-Modified Landscape in Bintulu, Sarawak, In Ishikawa, N. and Soda, R. eds. Anthropogenic Tropical Forests: Human-Nature Interfaces on the Plantation Frontier	

1. 著者名 Samejima, H.	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 639
3. 書名 Tropical Timber Trading from Southeast Asia to Japan, In Ishikawa, N. and Soda, R. eds. Anthropogenic Tropical Forests: Human-Nature Interfaces on the Plantation Frontier	

1. 著者名 鮫島弘光	4. 発行年 2020年
2. 出版社 日本林業調査会	5. 総ページ数 194
3. 書名 ESG課題解決への林業・木材産業の貢献ポテンシャル、井上雅文、長坂健司、安藤範親編 『SDGs時代の木材産業』	

1. 著者名 生方史数	4. 発行年 2018年
2. 出版社 有斐閣	5. 総ページ数 337
3. 書名 「環境問題に向き合うアジア—後発性と多様性のなかで」遠藤環・大泉啓一郎・後藤健太・伊藤亜聖編 『現代アジア経済論 「アジアの世紀」を学ぶ』	

1. 著者名 生方史数	4. 発行年 2018年
2. 出版社 晃洋書房	5. 総ページ数 398
3. 書名 「アブラヤシ栽培・流通における産業と社会のジレンマとその調整方向—タイの事例から」林田秀樹編著 『東南アジアのアブラヤシ小農と農園企業—グローバル化に伴う行動様式変化とその影響』	

1. 著者名 Johnson B, H. Scheyvens, H. Samejima	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 221
3. 書名 Quantitative Assessment of the Earth Observation Data and Methods Used to Generate Reference Emission Levels for REDD+, In Onoda M, O. Young eds. "Satellite Earth Observations and their Impact on Society and Policy".	

1. 著者名 生方史数	4. 発行年 2017年
2. 出版社 慶應義塾大学出版会	5. 総ページ数 368
3. 書名 「「緑」と「茶色」のエコロジー的近代化論—資源産業における争点と変革プロセス」井上真編『東南アジア地域研究入門 第1巻 環境』	

1. 著者名 百村帝彦	4. 発行年 2017年
2. 出版社 慶應義塾大学出版会	5. 総ページ数 368
3. 書名 森林保全のための国際メカニズム - REDDプラスによる新たな動き - 井上真編 『東南アジア地域研究入門1 環境』	

1. 著者名 内藤大輔	4. 発行年 2017年
2. 出版社 慶應義塾大学出版会	5. 総ページ数 368
3. 書名 「インドネシア中部ジャワにおける実践的レジリアンス研究にむけて」井上真編 『東南アジア地域研究入門 1 環境』	

1. 著者名 大元鈴子;佐藤哲;内藤大輔(編)	4. 発行年 2016年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 256
3. 書名 国際資源管理認証制度 エコラベルがつなぐグローバルとローカル	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	内藤 大輔  (Naito Daisuke)  (30616016)	京都大学・東南アジア地域研究研究所・特定研究員   (14301)	
研究分担者	百村 帝彦  (Hyakumura Kimihiko)  (80360783)	九州大学・熱帯農学研究センター・准教授   (17102)	

## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
連携 研究者	鮫島 弘光  (Samejima Hiromitsu)  (80594192)	公益財団法人地球環境戦略研究機関・その他部局等・リサーチマネージャー     (82711)	